

JUMP!!

熊谷市立江南南小学校 第6学年 学年だより

冬休み号 令和4年12月23日(金)

学年目標

- よく聞き、考え、自ら学ぶ子
- 思いやりの心をもって行動する子
- 心と体をきたえる子

学年目標

- よく聞き、考え、自ら学ぶ子
- 思いやりの心をもって行動する子
- 心と体をきたえ子



★楽しい冬休みを!

夏休み後の4ヶ月間、運動会、修学旅行、持久走大会と行事を通して、最高学年としての自覚をもち、学校のリーダーとして活躍してくれました。保護者の方々のご協力やご理解があったのことに感謝しております。

いよいよ待ちに待った楽しい冬休みが、明日から始まります。冬休みは大掃除や餅つき、家族総出で働くことが多いと思います。勤労の意義や家族と過ごすことの大切さを考えさせる良い機会です。冬休みが、有意義な時間となりますようにお祈りいたします。ご家族の皆様で良いお年をお迎えください。

冬休みが明けると3ヶ月で卒業式を迎えます。楽しい思い出作りと同時に、これまでの生活や学習の振り返りを行い、中学校への意識を高めてまいります。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

冬休みの課題



- ① 生活表(生活表にチェック)
 - ・学習 ・読書 ・リコーダー練習 ・家庭での仕事
 - ・歯みがき ※10分×学年+10分=70分の学習
- ② 小6テスト対策過去問題(6年分×2回配布。各年度問題冊子1冊、回答用紙3枚、解答1枚。丸付けをして提出)
- ③ なわとびカード ※目標は学年×1000回です。
- ④ 書きぞめ10枚(全て提出。一番良いものを上にしておく。)
- ⑤ 新年のちかい(1枚家庭用 1枚学校提出用)
- ⑥ 自主学習(漢字・計算・アルファベットなど)

※冬休み関係の配布物を封筒に入れて配布します。宿題は配布した封筒に入れて持ってきてください。

お子様の課題の取り組み具合を確認してください。丸付けはお家の人がしていただければと思います。やるべきことをきちんとやり終え、後期後半が気持ちよくスタートできるようにご協力ください。間違えた問題は、答えを写すだけではなく、自主学習ノートなどにやり直しをさせてください。冬休み明けに小6テスト過去問題から1年分、模擬テストを実施します。



オンライン朝の会を実施します

日時 1組: 1月5日(木) 8:30~9:00

2組: 1月6日(金) 9:30~10:00

健康観察・課題の取組等を確認します。都合が悪い場合は学校に連絡をお願いします。

後期後半の始まり

1月10日(火)

- | | | | |
|-----|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 持ち物 | <input type="checkbox"/> あゆみ | <input type="checkbox"/> 連絡帳・筆記用具 | <input type="checkbox"/> 冬休みの課題 |
| | <input type="checkbox"/> 上ばき | <input type="checkbox"/> そうきん1枚 | <input type="checkbox"/> 借りた本 |
| | <input type="checkbox"/> 体育ぼうし | <input type="checkbox"/> テストつづり | <input type="checkbox"/> 短なわ |
| | | | <input type="checkbox"/> 国語・算数 |

※特別日課3時間授業 11時20分 一斉下校

11日(水)は校内書きぞめ制作会です。道具を忘れずにお願いします。

〈第2回漢字・計算検定の結果〉

	1組	2組
漢字検定合格(90点以上)	68%	83%
計算検定合格(90点以上)	76%	79%

考察

- 漢字検定では、「専」に点を付けてしまったり、「衆」「裏」を正しく覚えていなかったりする間違いが多かった。
- 送り仮名では、「断る」を「断わる」と書いてしまったり、「幼い」を「幼ない」と書いてしまったりする間違いが多かった。送り仮名の練習をする必要がありそう。
- 満点の児童もたくさんいたのに対し、勉強不足で点数が取れない児童もいたので、結果が伸びなかった。くり返し覚えるまで勉強するようにしてほしい。
- 算数は、約分に苦戦する人が多かったので、たくさん問題を解いて慣れることが大切だと感じた。
- 小数が含まれる計算でミスをする人がいたので、解いた後にもう一度解きなおすようにしてほしい。
- 普段の宿題も答えを写すのではなく、答えを確認して解きなおすことができる児童は成績が伸びているので、全員に実践してほしい。